

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覽

主食		
前月よりも落ち込み、前年比98.9%と前年を下回った。前年同月にデルタ株の感染拡大と天候不順の影響で巣ごもり需要が活況だったことから、その反動で減少したと見て取れる。「米飯類」：前月ほどの勢いはないものの、おかゆやカレーご飯の好調で伸長。オミクロン株の感染拡大で、自宅療養の需要が高まったためと推察される。「食パン、菓子パン・調理パン、袋インスタント麺」：販売金額は緩やかに増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量は減少。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
主食 TOTAL	98.9	-3.4
米		
米飯類	104.9	-5.0
食パン	101.9	-1.9
菓子パン・調理パン	102.6	-2.1
シリアル類		
袋インスタント麺	101.5	0.4
カップインスタント麺		
乾麺		
生麺・ゆで麺		
スパゲティ		
マカロニ類		
小麦粉		
てんぷら粉		
唐揚げ粉		
パン粉		
ブレミックス		

調味料		
前月よりも落ち込み、前年比97.4%と前年を下回った。「マヨネーズ」：販売金額で前年を上回ったものの、価格上昇によるもので、販売数量は前年並み。「サラダ油・天ぷら油」：値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売数量は落ち込んだ。とりわけ、キャノーラ油は値上げ幅が大きく、販売数量の落ち込みが続いている。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
調味料 TOTAL	97.4	-3.2
醤油		
味噌		
食塩		
料理酒		
砂糖		
低カロリー甘味料		
シロップ類		
蜂蜜		
ソース		
ケチャップ		
マヨネーズ	109.5	-5.6
ドレッシング		
香辛料		
エッセンス類		
焼肉シャブシャブのタレ		
食酢		
ほん酢		
本みりん		
みりん風調味料		
風味調味料		
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素		
サラダ油・天ぷら油	109.2	-5.9
ゴマ油		
バター		
マーガリン類		
チーズ		
ジャム・ママレード		

※網掛け
前年比 105%超: 105.0%

加工食品①		
前月よりも落ち込み、前年比98.2%と前年を下回った。「ふりかけ」：販売金額は緩やかに増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量はほぼ前年並み。種類別では、鮭フレークやソフトふりかけが好調。「冷凍水産・農産・調理」：コロナ禍の巣ごもり需要で好調に推移していたが、今月は販売金額がほぼ前年並みとなった。値上げの影響もあることから、販売数量では苦戦しているようだ。外出増に伴い、巣ごもり需要が縮小してきたことが見て取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
加工食品① TOTAL	98.2	-6.2
春雨・くず切り		
こうや豆腐		
海苔		
ふりかけ	101.9	-4.2
お茶漬けの素		
まぜご飯の素		
カレー		
シチュー		
パスタソース		
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁・吸物類		
調理用スープ		
冷凍水産	100.3	-11.9
冷凍農産	103.5	-6.7
冷凍調理	100.0	-8.1

加工食品②		
前月よりも落ち込み、前年比95.4%と前年を下回った。「和風食品」：前月ほどの勢いはないものの、味付き玉子・玉子焼き・鯛焼きなどの好調により伸長。「魚肉ソーセージ」：販売金額は緩やかに増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量は減少。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
加工食品② TOTAL	95.4	-4.4
魚介類缶詰		
野菜缶詰		
フルーツ缶詰		
畜肉缶詰		
パウチ入り食材		
和風食品	104.4	-3.4
洋風食品		
中華風食品		
畜肉ハム		
畜肉ソーセージ		
魚肉ソーセージ	100.1	-5.1
焼豚		
ベーコン		

加工食品③		
前月よりも落ち込み、前年比97.8%と前年を下回った。「ちくわ」：販売金額は緩やかに増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量は減少。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
加工食品③ TOTAL	97.8	-4.1
かまぼこ		
ちくわ	102.5	-4.0
はんぺん		
揚げ物		
納豆		
煮豆		
佃煮		
もずく・めかぶ	100.2	-3.9
豆腐類		

菓子		
前月よりも落ち込み、前年比99.9%と前年をやや下回った。「キャンディ」：グミの好調が続くほか、オミクロン株の感染拡大のためか、のど飴も伸長。「チューインガム、玩具メーカー菓子」：韓流アイドル関連の商品が好調で伸長。「栄養バランス食品」：新商品の寄与に加えて、外出増による小腹満たし需要拡大も影響したと考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
菓子 TOTAL	99.9	-1.2
チョコレート		
キャラメル		
キャンディ	110.1	2.6
チューインガム	101.9	10.5
ビスケット&クラッカー		
スナック	101.3	-4.8
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子	104.0	17.5
栄養バランス食品	110.5	0.4

嗜好品		
前月よりも落ち込み、前年比99.6%と前年をやや下回った。「ベビーフード」：外出増の影響により、伸長したものと考えられる。「レギュラーコーヒー」：値上げの影響で販売金額が伸びているものの、販売数量では落ち込みが見られた。外出増も需要を押し下げたと推察される。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
嗜好品 TOTAL	99.6	-1.0
アイスクリーム	100.1	-0.8
デザート類	100.4	-1.4
ベビーフード	108.2	1.0
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム		
インスタントコーヒー	103.3	-0.2
レギュラーコーヒー		
紅茶		
ココア		
日本茶		
麦茶		
中国茶		

飲料		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比102.1%と前年を上回った。前年よりも気温が上昇したことで水分補給や熱中症対策の需要が高まったようだ。前月ほどの勢いはないものの、オミクロン株の感染拡大で自宅療養の需要も寄与したと見られる。「乳酸菌飲料」：ストレス緩和等の効果を訴求する、機能的表示食品の商品の好調が継続。加えて、お笑い芸人とのコラボ商品の寄与も見られた。「果汁飲料」：ミックスジュースタイプの新商品が好調だった。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
飲料 TOTAL	102.1	0.3
牛乳		
ヨーグルト		
乳酸菌飲料	148.6	3.0
豆乳		
100%ジュース	103.0	3.0
果汁飲料	127.8	19.5
トマトジュース	103.3	1.1
野菜ジュース		
コーラ	100.0	7.4
サイダー		
炭酸飲料		
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク	103.3	8.6
液体茶	100.0	-3.5
スポーツドリンク	103.4	-10.1
美容・健康ドリンク	103.6	-7.9
栄養ドリンク	110.9	4.7
ミネラルウォーター類	106.6	-0.1
乳酸飲料		

アルコール		
前月よりも落ち込み、前年比95.0%と前年を下回った。「ウイスキー」：PB商品の寄与もあり、ハイボールが好調。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
アルコール TOTAL	95.0	-0.8
ビール類		
ウイスキー	102.7	-0.7
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨		
前月よりも落ち込み、前年比99.2%と前年を下回った。「カビ防止剤」：「お風呂場に置くだけで防カビ対策ができる」と訴求する新商品の寄与により伸長。「アルミホイル」：値上げの影響で伸長したと見て取れる。「使い捨てカイロ」：セルフケア需要の高まりか、目元用の商品が好調。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
日用雑貨 TOTAL	99.2	-2.9
歯ブラシ	102.1	-1.5
歯磨き		
マウスウォッシュ	101.7	-5.5
義歯用剤		
洗濯用洗剤	102.4	-4.4
中性洗剤		
漂白剤	101.7	-3.8
柔軟剤		
台所用洗剤		
住居用クリーナー	102.5	0.3
トイレ用クリーナー		
バスクリーナー	105.1	-1.9
パイプクリーナー		
家庭用手袋	102.5	1.2
化学雑巾		
たわし・スポンジ		
水切り袋		
殺虫剤		
防虫剤		
カビ防止剤	121.2	-4.0
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤		
ラッピングフィルム		
アルミホイル	106.2	-2.9
食品包装用品	101.6	-2.5
アルミガスマット		
ティッシュペーパー		
トイレトペーパー		
ペーパータオル	102.9	-3.5
ぬれティッシュ	102.8	-5.3
使い捨て紙クリーナー		
紙おむつ		
大人紙おむつ	102.6	-3.6
生理用品	101.0	-3.9
絆創膏	105.4	2.3
使い捨てカイロ	106.9	6.4
綿棒		

ペット		
前月よりも落ち込み、前年比98.5%と前年を下回った。「キャットフード」：価格帯の高いおやつタイプが好調で、家族の一員としてキャットフードにかかるお金が増加しているものと推察される。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
ペット TOTAL	98.5	-3.6
ドッグフード		
キャットフード	102.3	-3.9
ペット用品		

石鹸・ヘアケア		
前月よりも落ち込んだものの、前年比100.3%と前年をやや上回った。「アウトバスヘアケア」：セルフケア需要の高まりか、ヘアオイルの好調が継続。スプレーやワックスも前年を上回っており、外出時の需要が回復しつつあると見て取れる。「制汗剤」：前年よりも気温が上昇したことで、需要が高まったと考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
石鹸・ヘアケア TOTAL	100.3	-2.9
石鹸		
入浴剤		
シャンプー	101.8	-3.9
ヘアリンス	102.3	-3.3
ヘアトリートメント		
アウトバスヘアケア	107.8	-1.4
ヘアカラー		
育毛トニック		
制汗剤	105.0	1.1

化粧品		
前月よりも伸長し、前年比107.2%と前年を上回った。外出増の影響を受け、化粧品全般が好調となった。前年落ち込んでいた反動もあり、口紅がとりわけ大きく伸長したが、コロナ前の2019年の水準までは回復していない。パックは、外出増に伴い、日焼けによる肌荒れ対策の需要が高まっていると推察。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
化粧品 TOTAL	107.2	1.2
クレンジング	103.4	1.3
洗顔クリーム	104.5	-5.5
化粧水	100.3	-1.3
乳液	106.2	-1.1
栄養クリーム	101.3	-1.8
パック	113.9	-1.4
美容液	105.7	9.0
化粧下地	100.6	-1.5
ファンデーション	104.0	0.3
おしろい	111.6	4.0
口紅	148.7	11.3
眉目料	110.0	0.2
マニキュア	105.8	1.6

医薬品		
前月よりも落ち込んだものの、前年比107.9%と前年を上回った。オミクロン株の感染拡大を背景として、口腔用薬、鎮咳去痰剤、総合感冒薬と風邪関連薬が大幅に伸長。オミクロン株の症状がのどの痛みに出やすいことから、口腔用薬と鎮咳去痰剤がとりわけ伸長したと見られる。解熱鎮痛剤は、前年もデルタ株の感染拡大やワクチン接種の副反応への対策で伸長していたことから、前年割れとなった。「ミニドリンク剤」：外出増に加えて、オミクロン株の感染拡大を背景として滋養強壯の需要が高まったことが影響したと推察される。		
カテゴリ	金額前年比 2022年8月	前月差 2022年8月
医薬品 TOTAL	107.9	-2.1
コンタクト用剤	101.1	-3.8
マスク	101.6	-14.6
ミニドリンク剤	113.7	-0.5
漢方薬	107.4	-0.1
総合感冒薬	139.5	7.6
鼻炎治療剤	108.1	2.4
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤	159.7	22.4
口腔用薬	204.3	26.5
胃腸薬	102.6	-0.4
整腸薬	102.2	-3.4
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	102.4	-1.7
目薬	102.3	-3.2
健康食品	101.6	-5.8

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。